

令和5年度 西都市立都於郡小学校 学校関係者評価(2月22日)

【学校の教育目標】「夢や希望をもち、進んで学び、やさしくたくましく生きる子どもの育成」

【本年度重点目標】 ○ 未来を叶える学力の向上 ○ 明るく楽しい学校生活の実現 ○ 心身の健康及び安全教育の充実 ○ 特別支援教育の充実

4段階評価 4：達成 3：ほぼ達成 2：不十分 1：改善を要する

評価項目		評価指標	運営協議会 委員評価	運営協議会委員コメント
未来を叶える 学力の向上	日常授業の工夫 改善	単元末テスト平均90点以上、各種 学力調査平均正答率の全国・県・ 市平均以上の到達。 自分の考えをしっかりと表現する力の 向上 全児童のICT活用能力の向上。 姿勢や聞く・話す力の向上	3	○授業を参観してどの学年も先生方が子供たちと同じ目線に立って、寄り添って授業をされているなどと思いました。 ○小規模校ならではの視点を生かした教育活動がなされていると思います。保護者、児童のアンケートもよい結果なので、このまま進めていただければと思います。 ○教職員の成果・課題及び改善策に昼休みも学習内容の定着のために指導をしていただいているとのことですが、子どもたちだけでなく、先生への負担になっていないでしょうか？昼休みに指導していただいているのは、大変ありがたいことですが、昼休みは先生方の休み時間でもあると思いますので負担のないようによろしく願います。 ○教職員評価も低めて、今年度より午前中5時間授業になったことでのメリット・デメリットがあると思うので、職員間でよく話し合い、来年度更に成果が出るようにしていただきたい。 ○評価指標にある、各種学力調査平均正答率の全国・県・市平均以上の到達、とあるが成果、課題及び改善策の中にその内容が記載されておらず、本校児童の学力状況がどの程度なのか理解できない。差支えなければ次年度から提示していただきたい。 ○低学年には学力アップもだが、楽しい学校生活も必要。高学年は自分の意見をはっきり言える発言力を身に付ける。先生方も子どもに寄り添い、今以上に指導願います。 ○児童、保護者へのアンケート調査の中で、読書への取組状況が示されているが家庭でも児童本人もあまり取組みがなされていないのが気になる場所である。教職員の評価においてもタブレット学習が定着していくなかで「読む力」が落ちているのではないかと、という意見が出されている。読書を通じての読解力は国語のみならず各教科に影響すると思われるので、今後は音読や暗唱に力を入れていただきたい。そのことが聞く力や話す力の向上にもつながると思う。 ○タブレット学習が多くなると視力の低下が心配になります。(テレビでも放送されていました) ○ICT活用は避けて通れませんが、読む力等との難しい課題がありますので、その配分や進め方について先生方でよく議論しながら進めていただきたいと思います。 ○ノーメディアの時間をどう作るのか大人もしっかり考えていく必要がありますね。 ○読書習慣や外部講師の積極的・効果的活用ができていますように思います。 ○児童、保護者とも読書の取組についての点数にばらつきがあった。読む力はとても大切なことなので、今後、取り組み方について考えて欲しいと思う。
	全ての児童に対する特別支援教育の視点を意識した授業改善	職員研修の充実及び校内支援体制の整備・充実。 保護者・地域への啓発。		
家庭・地域と連携した教育活動の充実	基礎基本の定着と思考力を高める家庭学習支援、週1回の図書室利用と「家読の日」(毎月10日)におけるノーメディアの時間への協力・読書習慣外部講師の積極的・効果的活用			
明るく楽しい学校生活の実現	「よりよいくらしのための3か条」の定着と基本的な生活習慣の形成	相手に伝わる「あいさつ・返事」の励行、 きちんと見える「整理整頓」の定着 1日を支える「早寝・早起き・朝ごはん」の定着	3.1	○あいさつは小学校での取り組みが子どもたちに身に付いていて、中学生になってもあいさつをする子どもが多いと思います ○あいさつはかなりよくなっているように感じます。ただ、同じような質問で保護者と児童の回答にかなり差があるのはなぜでしょうか？ ○元気にあいさつしてくれる子もいますが、女の子、高学年になると恥ずかしいのか声が小さくなっている子がいます。 ○評価指標にある「相手に伝わるあいさつ、返事の励行」について、保護者はよくできているとの反応であるが、教職員の評価は「もっと進んであいさつできる児童として育てるためにコミュニケーション力を伸ばしていきたい。」ことと「あいさつ、返事について取り上げて指導を行うことができていなかったため、今後意識して指導したい」とのことである。子供たちにやる気をもたせるとともに、進んであいさつができる児童を育てるために、運営委員会のあいさつ運動の取組を通じて、相手に伝わる「あいさつ、返事」の励行に取り組んでいただきたい。 ○笑顔で大きな声であいさつし、何事にもチャレンジすること。失敗して得ることの大事さも指導願います。 ○子供たち個人個人の差もありますが、他の学校の子どもたちに比べると都於郡小学校の子どもたちは前に出て発表するのがあまり得意じゃないのかな？と思うことがありました。 ○朝の見守りを時々行っているが、こちらからあいさつをするとあいさつを返すが、こどもの方からする子は少ないように感じる。 ○歩いて登校している児童も少ないように感じる。「早寝・早起き・朝ごはん」が実際ちゃんとできているのか…？ ○児童アンケートでは全て4点以上が多く、特に7,8の点数が高いので、友達や先生との関係がよいことがうかがえ、安心した。 ○いじめは命にかかわる大きな問題ではありますが、なかなか実態をつかむには困難な面があると思います。運営協議会等で、取組に関する情報提供(できる範囲で)いただくと有難いかと思います。
	道徳の時間の充実、規範意識・自主性・社会性の向上	道徳授業の完全実施。 きまり正しい生活態度と何事も進んで取り組む児童の育成		
	いじめや差別のない、思いやりの心の育成	いじめや差別の根絶、人権教育の推進		

心身の健康及び安全教育の充実	体力向上のための体育・日常指導の充実、健康意識の高揚	教科体育及び家庭との連携による体力テスト県平均以上達成	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○運動会は、暑さ対策で10月開催となり、また、台風で延期になりました。気候問題はつきものなので仕方ありません。10月にずらした事で練習など前年より早目に取り組む事ができたようでよかったです。小学生、中学生共に一生懸命頑張っている姿を何度も見ました。とても良かったと思います。 ○昼休みなどの時間でしっかり遊び、運動できるといいですね。 ○休日などに外で遊ぶことが少なくなった子どもたちのためにも、学校での昼休みなど外で遊ぶことを、今後も促していただきたい。 ○児童数が少なく、少年団などに入る子どもが少ないため、学校の中で異学年との交流を更に多くしていただきたい。 ○今、昼休みに外に出て遊ぶ子どもの声あまり聞こえないなあと感じています。 ○心身の健康及び安全教育の充実については、評価指標にある基準を概ね満たしていると思われる。 ○教科体育は体力に個人差があるが、頑張りを褒めること。他の児童と比較しないことが大事。
	危険予測・回避能力の育成	運動の習慣化による健康的な生活の実践		
特別支援教育の充実	食に関する指導の充実	望ましい食習慣を身に付けた児童の育成	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の学習発表会はとてもすばらしかった。特に「伊東マンショ」の発表は工夫されており、とても分かりやすかった。もっと地域の方にも見てもらえるようPRし、集客できるとよかったですのではないかと大変もったいなく思った。1～6年まで個々の居場所がある発表会だったと思う。 ○オープンスクール参観日の「さいと学」発表はいい発表でした。よく調べてありました。 ○今後、中学校が統合されるため、小学校で引き続き「都於郡」のことについての学習をお願いしたい。 ○さいと学の実践及び地域素材の活用については「さいと学」の授業がオープンスクール参観日の機会を活用してその成果が発表されたとのことであるが、今年度の実践を参考にして次年度も実施していただきたい。 ○地域行事は今まで同様に参加をお願いします。 ○地域とのつながりはいろいろな意味で大切かと思います。そのためには、学校情報(通信)が重要です。子供のいない家庭、子育てが終了した家庭が学校の動き(様子)を知るにはホームページや回覧版しかありません。また、地域活動への参加(とりわけクリーンデー等の環境美化活動)は重要で、親子の意識改革が必要です。学校、PTAで連携してその気運を高めてほしいと思います。 ○インターネットを通じたコミュニケーションが子どもたちに普及している一方で、外での遊びや自然体験等の機会の減少により、初対面の人に対してコミュニケーションの取り方に抵抗を感じる人が多くなっている様に思える。
	伝統やふるさとのよさに気付きそれらを大切にす態度の育成のための体験活動の充実	さいと学の実践及び地域素材の活用		
	コミュニティスクールの推進	学校の情報発信(HP・通信)及び地域の情報収集		
	教職員の自己研鑽及び学校における働き方改革の推進	新しい研修制度に基づいた職員研修及びスーパーディの設定による教育の質の向上		